

二〇一三年七月五日

草刈りの男ホースで顔洗ふ
一幅の涼し墨絵の鯉跳ねて

なつき

菜々

二〇一三年七月四日

梅雨湿りして朝刊の繰り難き
ライトバンより足が出て三尺寝

満天

きづな

二〇一三年七月三日

時差ぼけを悟られまじとサングラス

宏虎

二〇一三年七月二日

噴水のラインダンスや楽愉し
葉柳が肩に触れもす夜道かな
肩寄せて覗き入る子ら夜店市

はく子

せいじ

あさこ

二〇一三年七月一日

万緑を踏んまへて立つ朱塗り門
一村を貫く紫陽花ロードかな

菜々

こすもす

二〇一三年六月三〇日

太梁は地場の杉材避暑の宿
青蔦の庇をなせる農具小屋

菜々

さつき

二〇一三年六月二十九日

万緑の底ひに谷戸の一軒家
白南風に軋みやまずよ船溜まり
百選の棚田をわたる風涼し

さつき

ひかり

よし子

毎日句会みのる選・二〇一三年七月七日